

1-5 交通空白地等における移動手段の確保

地域連携部

めざす姿

県内各市町で地域の实情に応じた公共交通に関する方向性が整理され、多様な輸送資源を活用することなどにより、新たな移動手段の確保が進んでいる。

現状と課題

- 人口減少等の影響による移動需要の縮小や新型コロナウイルス感染症の拡大により、バス、鉄道等の地域公共交通は厳しい状況となっている。
- 新型コロナウイルスの感染拡大の影響などから、公共交通利用者数が減少しており、バス路線の縮小・減便やタクシー事業者の撤退などが懸念されている。
- 高齢者の運転免許証の自主返納が進む中、交通不便地域等における新たな移動手段の確保が求められている。

取組概要

- 次世代モビリティ等の活用など、地域の实情に応じた新たな移動手段の確保に向けた市町や地域の取組を支援するとともに、その横展開を図る。

具体的な取組

- 交通空白地等の解消に向けて、次世代モビリティ等を活用するなど、地域の实情に応じた新たな移動手段確保に向けた取組を支援



取組内容／目標項目

現状値(2022年)

目標値(2026年)又は実施スケジュール

新たな移動手段の確保に向けて取り組んだ件数
(累計)

—



10件

※デジタル技術を活用した取組以外も含む